

対談：「縮充」の実現に向けて

「むらおさめ」—集落を看取ること

中 村 茂 生

高知県安芸郡のK集落は、住人わずか3人の集落である。空き家や廃屋も目立つが、集落内はよく整えられており、ちゃんとひとの暮らしが営まれていることは一目でわかる。小さな集落だが、昭和30年頃までは十数世帯百数十人がここに暮らし、周辺から子どもたちが通ってくる分校もあったので、人があふれかえっていた。

70年でここまで様変わりするものだろうか—今もここに暮らすNさんや、近くの町から週3回K集落にある生家を訪ねてくるYさんが、賑やかだった頃の話語る様子を見ていると、おふたりにとって、現状は受け入れ難いものなのだろうと感じる。それでもここは、そう遠くない先に、集落としての最期を迎えるだろう。

以前から私は、そうした消えゆく集落をしっかりと記録し、集落まるごとアーカイブのようなものをつくれなかと考えていた。私の知る限り、消滅する集落は、まるで何かに敗退するかのように、ひっそりと去っていく。自分たちで記録を残そうという気力もそこにはない。なんでも記録すればいいというものではないかもしれないが、長くひとが住んできた集落の暮らしのなかには、大げさにいうと人類にとって貴重な生きる知恵が含まれているのではないか。それを記録したい、また、せめてそうした記録を残せば、たまたま集落の終焉に立ち会う巡り合わせになった人たちも、もっとポジティブにそれを受けいられるのではないかと思っていた。少しずつだが、今、K集落でそれを試みている。

作野先生の名前と「むらおさめ」という言葉は、そうした関心の中で、ずいぶん前から知っていた。「むらおさめ」ということばで捉えれば、集落の消滅

をポジティブなものにできるのではないか。

今回概要説明のなかで、作野先生は、「地域・集落が置かれた状況に応じた対応」という図を示し、集落の状況を、機能低下、機能維持困難、消滅のおそれ、の3つに分け、対応として、地域運営組織による地域維持、地域の縮充・むらの減築、そして三つ目の状況に「むらおさめ」をあててお話しされた。『山岳新校、ひらきました』(H.A.B.)では、それぞれに「むらおこし」「むらのこし」「むらおさめ」という名称が付されている。

かつて私は地域おこし協力隊という立場で働いたことがある。また今も仕事の現場で地域おこし協力隊とはよくいっしょになる。作野類型に従えば、地域おこしは、機能低下した集落を地域運営組織によって維持しようとする「むらおこし」の活動だ。ところが実際には、かつての私も含め、協力隊員は、「むらのこし」や「むらおさめ」の段階にある集落にも接することになる。この類型を頭におかないままそうした状況に放り込まれた隊員は、たとえばK集落を前にした時に、どう「むらおこし」すればよいのか途方に暮れることになる。消滅を避けられそうにもない集落が存在することを前提にするのは、地域おこし協力隊のような行政の仕事の中では難しいのだ。皆わかっていることでも、はっきり口にし、では何をすべきかという問題に切り替えず、なぜか希望がありそうな未来が語られる。

「むらおさめ」とあわせて語られた「看取り」は、今回作野先生のお話しのなかで、もっとも印象に残った言葉だった。私のように、外からやってきて消滅のおそれのある集落に関わる者が意識すべきなのは、これかもしれないと思った。

「看取り」という表現は、人の死に際して使うことばだ。ターミナルケアやホスピスも含め、だれにでも訪れる死を静かに受け止めようという態度に関わる表現は、今でこそ多くの人に受けいられるようになったが、禍々しいものとして長く遠ざけられていたのではなかったか。死を相手にして、戦い続けることが称揚されていた。そう考えると、ひとつの集落の消滅を同じように受けいれるまでに時間がかかるのは仕方がないことだ。いや、人の死と集落の消滅を同じであるかのように語るべきではない、ひとは死から逃れら

れないが、集落の消滅は、がんばれば！回避できる、という異論がでるかもしれない。わかるけれども、YさんやNさんに向かって、私はそれをいえないと思う。

K集落を「看取る」のは、YさんやNさんの役目だ。私の企てに、おふたりともずっと全面的に協力してくれたが、まだ「看取り」という心境にはないように見える。起源伝承によれば、K集落の歴史は千年を超える。その最後を看取るのは、大役だ。そこに記録者として関わろうとする私には、その一端を担う覚悟が求められる。

「むらおさめ」の方法を知りたいという私に、作野先生は、あちこちで出る質問だが、まだ明確な答えはないとおっしゃった。集落まるごとアーカイブは「むらおさめ」の方法のひとつになるのか、どう記録をとればそうなるのか。K集落の看取りという大役を任せられそうなYさんやNさんといっしょに考え、活動する中で、「むらおさめ」のひとつの形をつくることを考えたい。